

# H30年度 チーム人数減少対策アンケート調査結果報告

2019年2月23日  
連盟競技部

1. 目的  
各チーム人数の増減状況の実態調査を行い、チーム人数減少の対策につなげる。

2. 対象  
堺市各ブロック(北、堺、中、西、東、南、美原)のポートボールチーム

3. アンケート調査内容  
①チーム人数(H30/4月、9月時点)  
②体験会について  
③人数増の取り組みで何が効果的と思われますか

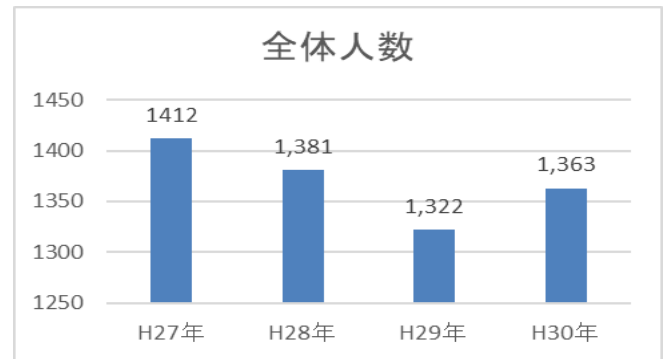
4. アンケート回収数  
校区数:73 チーム数:92

5. アンケート結果

①チーム人数

■全体人数

H27:1,412人 → H28:1,381人 → H29:1,322人 → H30:1,363人  
(回答94チーム) (回答92チーム) (回答88チーム) (回答92チーム)

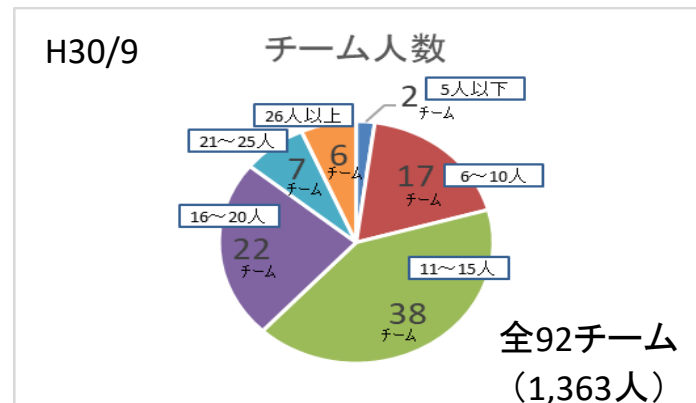
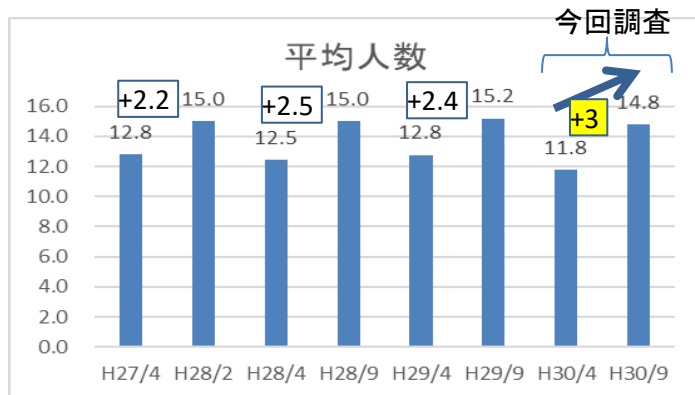


■平均人数

4月 11.8人から 9月 14.8人 まで増えています。  
4月からの増加人数は、平均で H29:+2.4人 ⇒ H30:+3.0人 と努力されています。

■チーム人数の割合

チーム人数は、11～15人のチームが38チームと一番多く、全92チームの約4割を占めます。  
グラフには表示されていませんが、9人に満たないチームは6チーム、最小は2人、最多は29人でした。



②体験会について

- ・8割以上のチームが実施しています。(未実施は、92チーム中16チームのみ)
- ・年1～2回の体験会(校区大会、子供会歓迎会、夏祭り等のイベント利用)実施すると、希望者あれば、随時練習時に参加してもらいやり方があります。
- ・入学前～1学期の間に1回は実施しているところが多いようです。
- ・実施時間は、イベントとしての体験会は、1～1.5時間が多く、練習参加型は、2～3時間が多くあります。
- ・参加人数はまちまちです。イベント型は、20人来ることもあります。練習参加型は1～数名。
- ・内容
  - ・基礎的な練習ドリブル、パス、シュート。
  - ・ゲーム性を入れた遊び、練習(ドリブルじゃんけん・リレー、ボール宝さがし、おにごっこ、フリースロー大会など)。
  - ・試合・・・見てもらうのと、出してもらう(ガード、ゴール)
  - ・その他・・・お菓子を配る、流しそうめん

③人数増の取り組みで何が効果的ですか？

- ・子ども、保護者、役員からの声掛け、勧誘が一番強力。(調査開始から4年間変わりありません)
- ・ポートの楽しさや、チームの雰囲気をしてもらうのに体験会も重要。
- ・ちらし配り、ポスター貼り、体験会の案内等は、すぐに入部にはつながらないが地道に実施しているチームが多いようです。
- ・その他・・・ポर्ट授業あった時に女子にちらし配る。入学前の幼稚園、保育園で声掛け。小学校HPの活用(小学校HPからチームHPにリンク)。